



学校だより 11月号

横浜市立日下小学校 令和3年 10月27日

夢に向かって ともに歩み 未来を拓く 日下小

日下小学校 ホームページURL

<http://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/hishita>

未来を拓く

校長 金子 孝

秋の日は釣瓶落とし^{つるべお}という言葉当てはまるように日暮れが早くなりました。残暑が厳しかった10月も後半は肌寒い日が続く、秋の気配が感じられます。

新型コロナウイルスについては、感染者が減少していますが、引き続きマスクの着用と手洗いの励行を進め感染対策を講じていきます。

先日、3年生と5年生が防犯寺子屋の授業を受けました。3年生は万引き防止や自転車盗、いじめについて、5年生はインターネットトラブルについて学習しました。どちらも映像を視聴して、正しい行動について子どもたちはよく考えていました。自分の言動に責任をもつことがとても大切なことも理解しました。また、失敗をすることで学ぶこともあります。いろいろな人とかかわりながらたくさん学んでほしいです。

先日、4年生が資源循環局金沢工場と資源選別センターに見学に行きました。横浜市はリデュース（ゴミそのものを減らす）、リユース（何回も繰り返し使う）、リサイクル（分別して再び資源として利用する）の3Rプランをめざしています。私も2年前に見学に行きました。資源選別センターでは手作業で分別をしていましたが、いろいろなものの混ざったにおいがしました。ペットボトルやビン、缶を出すときは水ですすぐだけで、資源化に近づけることがわかりました。きっと子どもたちも何かを感じてくれたと思います。未来を拓くということは、自分の夢を叶えるだけでなく、みんなが幸せに生活できる環境を一緒につくっていくことにもつながっていると考えます。日下農園で野菜作りを体験することは、食べ物に関心を持ち、大切に作る心を育てます。そして食べ物を作ってくれる人たちへ感謝の気持ちにもつながります。様々な経験を積み重ねることで子どもたちは未来を拓くための力をつけています。これからも学校教育目標に近づくために豊かな教育活動を計画していきます。

「チャレンジする心」「人とつながる力」コーナー

1年生は、生活科で育てたアサガオの種とりをしました。残ったつるでそれぞれ飾りをつけてリースを作りました。また、「いきものとなかよし」では、教室で虫やトカゲなどを観察しています。住みかやエサを調べてがんばって世話をしています。ときどき教室でコオロギが

